

平成26年12月3日

保護者 様

千葉県立若松高等学校
校長 佐藤 宰

インフルエンザのまん延防止について

寒冷の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、インフルエンザは、例年12月から3月にかけて流行が心配されますが、普通の風邪と比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎等を併発し重症化につながり、注意が必要な疾患です。

つきましては、昨年度と同様、感染予防のため、下記のとおり御留意くださいますようお願いいたします。

記

1 感染予防について

「みんなで予防インフルエンザ」・予防は「かからない」・「うつさない」が大切です。

- ① 手洗い：十分な手洗いが必要です。石けんを使い15秒以上ていねいに洗い、流水で石けんを洗い流し、手を拭くことが大切です。手指消毒剤も有効です。
- ② うがい：空気が乾燥しているため、こまめなうがいは感染予防に効果があります。
- ③ 咳・くしゃみ等の症状のある人は、マスクを着用し、マスクがない場合には、飛沫を防止するために、口元をティッシュ等で覆うなどのエチケットも必要です。
- ④ 混み合った場所、特に屋外や乗り物等の換気が不十分で閉鎖的な場所では、マスクを着用することも大切です。
- ⑤ 人ごみや感染症流行地への不要不急の外出を避けることも、感染予防になります。
- ⑥ 体力や抵抗力を高めるために、十分に休養をとり、栄養バランスのとれた食事を心がけることが大切です。

2 インフルエンザワクチンについて

今年度の季節性インフルエンザワクチンは、インフルエンザ A/H1N1 亜型と同じと A 香港型、B 型の 3 種類が含まれたワクチンです。

ワクチン接種後、効果が出るまで 2 週間程度を要します。毎年 12 月中旬までにワクチン接種を終えることをお勧めします。

3 学校での対応について

登校後、高温の発熱・咳などの症状及び体調が悪く、特に感染症の疑われる症状が確認された場合は、なるべく早く休養をとることと、医療機関の受診を勧めております。